

# 株 主 各 位

神奈川県高座郡寒川町一之宮六丁目1番3号

日 東 化 工 株 式 会 社

取締役社長 高 瀬 宗 救

## 第87回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、当社第87回定時株主総会を下記のとおり開催いたしたいと存じますので、ご出席下さいますようご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記株主総会参考書類をご検討いただきまして、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、平成26年6月23日(月曜日)午後5時30分までにご送付下さいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 平成26年6月24日(火曜日)午前10時
2. 場 所 神奈川県高座郡寒川町一之宮六丁目1番3号  
当社 本社事務所3F会議室  
(末尾の会場ご案内図をご参照下さい。)

### 3. 目的事項

報告事項 第87期 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日) 事業報告及び計算書類の内容報告の件

### 決議事項

- 第1号議案 取締役5名選任の件
- 第2号議案 監査役1名選任の件
- 第3号議案 退任取締役及び退任監査役に対する退職慰労金贈呈の件

以 上

- ◎ 総会にご出席の際は、同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出下さい。
- ◎ 次の事項につきましては、法令および当社定款第17条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト(<http://www.nitto-kk.co.jp>)に掲載しておりますので本招集ご通知の添付書類には記載しておりません。
  - ・ 計算書類の個別注記表
- ◎ 株主総会参考書類、事業報告及び計算書類に修正が生じた場合は、修正後の事項を上記の当社ウェブサイトに掲載いたします。

(添付書類)

# 事業報告

(自 平成25年4月1日)  
(至 平成26年3月31日)

## 1. 会社の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及びその成果

当期における我が国経済は、政府の経済政策等により、円高修正・株高で緩やかな景況感の改善が見られるものの、欧州債務問題や新興国の景気減速等による世界経済の下振れが懸念されることや、消費増税後の景気減速懸念等により、依然として先行きの不透明な状況が継続しております。

このような環境下、当社はゴムコンパウンドにおいて、自動車関連を中心に受注が好調に推移したことから、売上高は増収となったものの、利益については、ユーティリティ費用の価格上昇等に加えて、ゴム成形品の販売量の減少及び設備稼働率の低下等の影響により、営業利益、経常利益、当期純利益については減益となりました。

当期の業績は、売上高10,770百万円(前年同期比12.4%増)、営業利益31百万円(前年同期比57.2%減)、経常利益17百万円(前年同期比69.1%減)、当期純利益1百万円(前年同期比96.5%減)となりました。

当期の配当につきましては、当社を取り巻く環境は厳しい状況にあり、経営体質の一層の充実強化のため、誠に申し訳ございませんが、配当を見送らせていただきたいと存じます。

(セグメント別の状況)

(ゴム事業)

ゴム事業全体の売上高は、成形品での減収はあったものの、ゴムコンパウンドが増収だったこともあり、前年同期を1,170百万円上回る7,240百万円(前年同期比19.3%増)となりました。

<ゴムコンパウンド>

自動車関係を中心に受注が好調に推移し、前年同期を大幅に上回る売上高となりました。

<シート・マット>

ゴムシートは、受注が堅調に推移し、概ね前期並の売上高となりました。ゴムマットにおいては、粉末マット等の増販により前年同期を上回り、シート・マット全体としては前年同期を上回る売上高となりました。

<成形品>

防振ゴム関係の受注が低調だったことにより、前年同期を下回る売上高となりました。

#### (樹脂事業)

樹脂事業全体の売上高は、高機能樹脂コンパウンド及びリサイクルナイロン等ともに増収であったことから、前年同期に対しては23百万円上回る3,364百万円(前年同期比0.7%増)となりました。

#### <高機能樹脂コンパウンド>

自動車関係を中心に受注が堅調に推移したことにより、前年同期を上回る売上高となりました。

#### <リサイクルナイロン等>

樹脂洗浄剤の販売が好調に推移し、前年同期を上回る売上高となりました。

#### (設備投資等の状況)

当期の設備投資は、省力化・品質確保・基盤整備等に実施致しました。当期の設備投資の内訳は、次の通りです。

ゴム事業	376百万円	(前期比218百万円増)
樹脂事業	90百万円	(前期比15百万円増)
その他	2百万円	(前期比2百万円増)
合計	469百万円	(前期比236百万円増)

上記の他、当期において主要な設備に重要な異動はありません。

#### (資金調達の状況)

当期は、生産性向上及び設備増強等を実施する為の設備投資の資金を金融機関より借入したことにより、当期末の総借入残高は前期比339百万円増の2,639百万円となりました。

## (2) 会社が対処すべき課題

当期の国内経済は、政府の諸政策等による緩やかな回復基調にあるものの、新興国等の景気減速による下振れ懸念や、消費増税後の景気減速懸念等もあることから、依然として不透明な状況にあります。

このような事業環境下、当社におきましては、引き続き、収益基盤の強化が最大の課題です。当社独自の商品群一つ一つの収益基盤を強化して、事業環境の変化への対応力の高い体質とする必要があります。

このためには、市場・得意先ニーズを先取りした新技術・新製品開発に加え、生産性向上、原価低減、品質向上など経営体質強化に努めてまいります。

ゴム事業では、受託コンパウンド事業をベースとして、そこで培われた広範な原材料ネットワーク、ユニークな配合技術、コンパウンドとしてのコスト競争力を駆使して、汎用及び機能性ゴムシート及び高機能ゴム成形品の事業の収益力を強化します。

また、他社に無いユニークな商品群で構成されるゴムマット商品は、営業体制を強化して拡大をはかります。

樹脂事業も同様に、大口顧客からの受託コンパウンド事業をベースとして、そこで培われた生産技術を駆使して、当社独自の商品である洗浄用樹脂コンパウンドや導電性樹脂コンパウンド事業の更なる拡大をはかります。これらを実現するための具体的な方策は以下のとおりです。

- ① 品質の向上と省資源、省エネルギーを含めた徹底的なコスト削減をはかって、既存の商品群の競争力を高めてまいります。
- ② 製・販・技一体となって、市場のニーズにマッチした高付加価値新商品の開発・上市を進めてまいります。  
具体的には、社会インフラの整備、資源リサイクル、高齢化社会等の分野へ対応する開発を進めております。
- ③ 生産技術を強化し、高付加価値商品群に対応すべく生産設備の高度化をはかってまいります。
- ④ 国内市場向けのコスト競争力強化をはかるために、また成長する東南アジア市場へ展開するために、ベトナムに設置しました合弁会社の積極的な活用をはかってまいります。
- ⑤ 資産等の効率的な運用による財務体質の強化をはかってまいります。
- ⑥ コーポレートガバナンスをより充実させ、ステークホルダーの皆様  
の信頼を高めてまいります。

### (3) 財産及び損益の状況の推移

区 分	第 84 期 (平22.4~23.3)	第 85 期 (平23.4~24.3)	第 86 期 (平24.4~25.3)	第 87 期 (平25.4~26.3)
売 上 高(百万円)	9,719	9,829	9,580	10,770
当 期 純 利 益(百万円)	10	1	45	1
1株当たり当期純利益(円)	0.26	0.05	1.19	0.04
総 資 産(百万円)	7,355	7,682	7,567	7,654

(注) 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数から期中平均自己株式数を控除した株式数に基づき算出しております。

### (4) 重要な親会社及び子会社の状況

#### ① 親会社の状況

該当事項はありません。

#### ② 子会社、関連会社の状況

会 社 名	資本金	当社の出資比率	主要な事業内容
湘南エヌティケー株式会社	10 百万円	100.0%	ゴム、樹脂製品の販売及びゴム製品の施工
株 式 会 社 愛 東	30 百万円	50.0%	ゴム製品の製造及び販売
PERUBCO NITTO KAKO Co., Ltd.	1.2 百万ドル	49.0%	ゴム製品の製造及び販売

(注) 株式会社愛東は、平成26年3月31日現在、清算手続中であります。

### (5) 主要な事業内容(平成26年3月31日現在)

当社は次の品目の生産、販売を行っております。

1. ゴム事業 : コンパウンド、シート、マット、成形品等
2. 樹脂事業 : 高機能樹脂コンパウンド、リサイクルナイロン等

(6) 事業所(平成26年3月31日現在)

本社 : 神奈川県高座郡寒川町一之宮六丁目1番3号  
工場 : 湘南工場 (神奈川県)  
営業所 : 大阪支店 (大阪府)  
: 名古屋営業所 (愛知県)

(7) 従業員の状況(平成26年3月31日現在)

①当社の従業員の状況

	従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
合計	255名	20名増	43.5歳	11.2年

②部門別の従業員の状況

セグメントの名称	従業員数	前期末比増減
ゴム事業	195名	36名増
樹脂事業	47名	5名減
報告セグメント計	242名	31名増
その他	13名	11名減
合計	255名	20名増

(注) 従業員数は、子会社等への出向者、8名を含んでおります。

(8) 主要な借入先の状況(平成26年3月31日現在)

借入先	借入金残高
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,750 百万円
株式会社横浜銀行	516
株式会社三菱東京UFJ銀行	150
株式会社八千代銀行	97
日本生命保険相互会社	59
株式会社神奈川銀行	50
明治安田生命保険相互会社	16

## 2. 会社の株式に関する事項(平成26年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 150,000,000株
- (2) 発行済株式の総数 38,400,000株(自己株式17,349株を含む)
- (3) 株主数 3,871名
- (4) 大株主(上位10名)

株 主 名	持 株 数	持株比率
三 菱 樹 脂 株 式 会 社	13,909千株	36.24%
愛知タイヤ工業株式会社	2,015千株	5.25%
日東化工取引先持株会	1,317千株	3.43%
三菱UFJ信託銀行株式会社	950千株	2.48%
箕 浦 鉦 二	460千株	1.20%
日本証券金融株式会社	405千株	1.06%
多 田 勉	287千株	0.75%
フコク物産株式会社	273千株	0.71%
日東化工従業員持株会	226千株	0.59%
福 本 由 美 子	216千株	0.56%

(注) 持株比率は、自己株式(17,349株)を控除して計算しております。

### (5) その他株式に関する重要な事項

該当事項はありません。

### 3. 会社役員に関する事項

#### (1) 取締役及び監査役の氏名等(平成26年3月31日現在)

取締役社長	(代表取締役 兼営業本部長)	高瀬宗救
取締役	(生産本部長)	加藤俊
取締役	(技術開発本部長)	曾根一祐
取締役	(三菱樹脂株式会社 関連部長)	大道正尚
監査役	(常勤)	江頭正己
監査役	(株式会社三菱ケミカルホールディングス コーポレートスタッフ 三菱樹脂株式会社 経理部グループマネジャー)	浪尾秀治
監査役	(東京税理士会税理士 児玉化学工業株式会社監査役)	森本雄二

(注) 1. 当期中に就任した取締役は、次のとおりであります。

取締役 大道正尚

取締役 大道正尚氏は、平成25年6月25日開催の第86回定時株主総会に於いて選任され、就任いたしました。

2. 当期中に退任した取締役は、次のとおりであります。

取締役 前原一正

取締役 西岡靖之

取締役 前原一正氏は、平成25年6月25日開催の第86回定時株主総会終結の時をもって、任期満了のため退任いたしました。取締役共通部門長 西岡靖之氏は、平成25年8月31日をもって辞任により退任いたしました。

3. 取締役 大道正尚氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

4. 監査役 江頭正己、浪尾秀治、森本雄二の3氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。なお当社は森本雄二氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

5. 監査役 浪尾秀治、森本雄二の両氏は、以下のとおり、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。

- ・監査役 浪尾秀治氏は株式会社三菱ケミカルホールディングスコーポレートスタッフ及び三菱樹脂株式会社において、経理部グループマネジャーに従事しております。

- ・監査役 森本雄二氏は、税理士の資格を有しております。



## (2) 重要な兼職の状況(平成26年3月31日現在)

氏名	法人名	役職
大道正尚	三菱樹脂株式会社	関連部長
浪尾秀治	株式会社三菱ケミカルホールディングスコーポレートスタッフ 三菱樹脂株式会社	経理部グループマネジャー
森本雄二	東京税理士会税理士 児玉化学工業株式会社	— 社外監査役

## (3) 取締役及び監査役の報酬等の総額

### ① 当事業年度に係る報酬等の総額

区分	支払人員	報酬等の総額	摘要
取締役	5名	250万円	—
監査役	2名	120万円	監査役は全員社外監査役
計	7名	380万円	—

(注) 1. 株主総会の決議(平成4年6月26日)による取締役の報酬限度額は、月額100万円以内であります。

(ただし、使用人兼務取締役の使用人分給与等相当額は含まれておりません。)

2. 株主総会の決議(昭和57年6月28日)による監査役の報酬限度額は、月額200万円以内であります。

3. 上記の報酬等の総額には、当事業年度における役員退職慰労引当金の繰入額900万円(取締役5名に対し700万円、監査役2名に対し100万円)が含まれておりません。

4. 上記のほか、使用人兼務取締役の使用人分給与等相当額は280万円であります。

5. 当期末現在の人員は、取締役4名、監査役3名であります。

### ② 当事業年度に支払った役員退職慰労金

平成25年6月25日開催の第86回定時株主総会決議に基づき、同総会終結の時をもって退任した取締役に対し支払った役員退職慰労金は、以下のとおりであります。

・取締役1名に対し800万円

(当該金額は、上記①の役員の報酬等の総額には含まれておりません。また当該金額には、上記①の役員報酬等の総額に含めた役員退職慰労引当金の繰入額として、取締役1名00万円が含まれております。)

#### (4) 社外役員に関する事項

##### ① 社外取締役

イ. 社外役員に関する他の法人等の兼職状況(平成26年3月31日現在)

氏名	法人名	役職
大道 正尚 (社外取締役)	三菱樹脂株式会社	関連部長

(注) 三菱樹脂株式会社は当社の大株主であり、当社と同社とは、製品等の仕入及び製品の販売に関する取引関係があります。

ロ. 当事業年度における主な活動状況

氏名	出席の状況	主な活動状況
大道 正尚 (社外取締役)	取締役会 100% (8回中8回)	他社における長年の経験と知見から適宜発言を行っております。

(注) 大道正尚氏につきましては、平成25年6月25日に当社取締役に就任した後、当期中に開催された取締役会の出席状況及び活動状況を表示しております。

ハ. 社外取締役との責任限定契約について

当社は、社外取締役との間で会社法第423条第1項の賠償責任について法令に定める要件に該当する場合には賠償責任の限度額を同法第425条第1項に定める最低責任限度額とする内容の責任限定契約を締結しております。

② 社外監査役

イ. 社外役員に関する他の法人等の兼職状況(平成26年3月31日現在)

氏名	法人名	役職
江頭 正己 (社外監査役)	湘南エヌティケー株式会社	社外監査役
浪尾 秀治 (社外監査役)	株式会社三菱ケミカルホールディングス グスコポレートスタッフ 三菱樹脂株式会社	経理部グループマネジャー
森本 雄二 (社外監査役)	東京税理士会税理士 児玉化学工業株式会社	— 社外監査役

- (注) 1. 湘南エヌティケー株式会社は当社の子会社であります。  
 2. 株式会社三菱ケミカルホールディングスグスコポレートスタッフと当社との間には特別の関係はありません。  
 3. 三菱樹脂株式会社は当社の大株主であり、当社と同社とは、製品等の仕入及び製品の販売に関する取引関係があります。  
 4. 東京税理士会と当社との間には特別の関係はありません。  
 5. 児玉化学工業株式会社は三菱樹脂グループのグループ会社であり、当社と同社は製品等の販売に関する取引関係があります。

ロ. 当事業年度における主な活動状況

氏名	出席の状況		主な活動状況
江頭 正己 (社外監査役)	取締役会 100% (10回中10回)	監査役会 100% (9回中9回)	監査結果についての意見交換、監査に関する重要事項の協議等を行うとともに、取締役会の意思決定の妥当性、適法性を確保するための助言、提言を適宜行っております。
浪尾 秀治 (社外監査役)	取締役会 100% (10回中10回)	監査役会 100% (9回中9回)	
森本 雄二 (社外監査役)	取締役会 100% (10回中10回)	監査役会 100% (9回中9回)	

ハ. 社外監査役との責任限定契約について

当社は、各社外監査役との間で会社法第423条第1項の賠償責任について法令に定める要件に該当する場合には賠償責任の限度額を同法第425条第1項に定める最低責任限度額とする内容の責任限定契約を締結しております。

#### 4. 会計監査人に関する事項

##### (1) 会計監査人の名称

区 分	名 称
会計監査人	新日本有限責任監査法人

##### (2) 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額

当社が会計監査人に支払うべき報酬等の額は以下のとおりであります。

	支払額
当事業年度に係る会計監査人としての報酬等の額	20,000千円
当社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額	20,000千円

(注) 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬額を区分しておらず、実質的にも区分できないため、上記の金額にはこれらの合計額を記載しております。

##### (3) 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

当社は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に該当すると判断したときは、会計監査人を解任する方針です。

また、会計監査人が日本の監査基準及び国際監査基準の双方に照らして適格性及び信頼性において問題があると判断したときは、会計監査人を再任せず、他の適切な監査法人を選定して会計監査人選任議案を株主総会に諮る方針です。

## 5. 内部統制システム整備の基本方針についての決定

### (1) 取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

当社の定めた「企業倫理憲章」及び「コンプライアンス行動規範」を当社及び当社の子会社におけるコンプライアンスに関する基本規程とする。

取締役会が、取締役会規則その他関連規程に基づき、経営上の重要事項について意思決定を行うとともに、相互にその職務執行の監視・監督にあたる。監査役及び監査役会が「監査役監査基準」等に基づき、取締役会その他の重要会議への出席、各執行部門の個別業務監査等を通じて、取締役の業務執行について監査を行う。

財務報告の信頼性を確保するための内部統制体制を整備し、その適切な運用・管理にあたる。

取締役会は、コンプライアンス推進関連の諸規則、体制、啓発・教育プログラム、ホットライン運用・管理の適正性・有用性の見直しを定期的に行う。

### (2) 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

法令及び定款、その他規則等に基づき、取締役会その他重要な会議の議事録、重要な稟議書、重要な契約書、その他取締役の職務の執行状況に係わる文書を保存・管理し、取締役及び監査役が求めたときはいつでも当該文書を閲覧に供する。

### (3) 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

代表取締役が直轄する「リスク管理委員会」を設置する。リスク管理委員会は、各部署並びに子会社が立案した保有リスクの対応策について審議を行うとともに、経営に係わる重大リスクや全社横断的なリスクについて把握を行い、その対応策について企画・立案を行う。代表取締役は定期的にリスク管理委員会を開催し、リスク対応策の進捗状況の確認、見直し等を行うとともに、重要なリスク対応策については、取締役会の承認を得る。

### (4) 取締役の職務執行が効率的に行われることを確保するための体制

取締役会を2ヶ月に1回以上開催し、重要事項の決定並びに各取締役の業務の執行状況の監督等を行う。常勤取締役及び常勤監査役その他で構成する経営会議を、原則として毎週開催し、経営課題の事前検討を行うことにより経営効率を向上させる。

代表取締役は経営会議の場において、出席メンバーからの業務執行状況及び問題点の報告・提議に対し、出席メンバーの意見も聴取のうえ、対処方針・方策についての決定を都度機動的に行う。

(5) **使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制**

当社のコンプライアンス諸規程に基づき、環境・安全・品質を含めた当社グループにおけるコンプライアンスの確保、推進を図るとともに、その運用状況を「リスク管理委員会」内に設置する「コンプライアンス部会」において定期的に確認する。

また「コンプライアンス・ホットライン」を活用し、遵守違反事案の早期発見・未然防止に努める。

(6) **当社並びにその子会社から成る企業集団における業務の適正性を確保するための体制**

代表取締役は、子会社における経営上の重要事項については、関係会社管理要領に基づき事前の承認を行う。代表取締役は経営会議の場において子会社の予算審議を行うとともに、月1回業務執行状況の報告を受ける。子会社の監査役には原則として当社の常勤監査役が兼務し、当社の監査役監査基準に基づき、取締役会その他の重要会議への出席、各執行部門の個別業務監査等を通じて、子会社取締役の業務執行について監査を行う。

(7) **監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項**

各取締役は、監査役から職務の補助を求められた場合、各部門から監査役の了承を得て人選のうえ、適任者を監査役の指揮下で補助業務にあたらせる。

(8) **監査役職務を補助すべき使用人の取締役からの独立性に関する事項**

各取締役は、監査役への補助業務を行う使用人の取締役からの独立性を保証する。

代表取締役は、監査役から専任補助者を求められた場合は、監査役会と協議のうえ適任者を監査役付に専任させる。

(9) **取締役及び使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制**

取締役は、監査役への文書回覧基準等に従い、経営上の重要事項（会社に著しい損害を及ぼすおそれのある事実及び不正行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実を含む）の報告、重要文書の回覧を行う。

(10) **その他監査役監査が実効的に行われることを確保するための体制**

代表取締役と監査役は定期的に会合を持ち、経営上、監査上の重要課題等について意見交換を行う。また会計監査人とも定期的に意見及び情報の交換を行い緊密な連携を図る。

# 貸借対照表

(平成26年3月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】	千円	【負債の部】	千円
流動資産	4,060,110	流動負債	4,443,308
現金及び預金	131,236	支払手形	142,604
受取手形	682,639	買掛金	1,776,908
売掛金	2,170,941	短期借入金	1,450,000
製品	491,809	一年以内返済長期借入金	600,240
原材料	279,844	未払金	243,083
仕掛品	175,309	未払法人税等	6,600
貯蔵品	22,016	未払費用	89,586
前払費用	14,651	預り保証金	55,473
未収入金	74,903	預り金	19,816
その他の流動資産	17,559	賞与引当金	57,400
貸倒引当金	△800	設備関係支払手形	1,596
固定資産	3,593,930	固定負債	951,172
有形固定資産	3,415,968	長期借入金	589,000
建物	724,847	退職給付引当金	320,509
構築物	41,246	役員退職慰労引当金	40,184
機械及び装置	977,468	繰延税金負債	1,479
車両及び運搬具	5,072	負債合計	5,394,481
工具・器具及び備品	56,115	【純資産の部】	
土地	1,575,872	株主資本	2,256,888
建設仮勘定	35,344	資本金	1,920,000
無形固定資産	6,566	資本剰余金	19
諸権利金	1,014	その他資本剰余金	19
ソフトウェア	5,552	利益剰余金	338,868
投資その他の資産	171,396	利益準備金	161,480
投資有価証券	52,773	その他利益剰余金	177,388
関係会社株式	31,577	繰越利益剰余金	177,388
関係会社出資金	64,606	自己株式	△1,999
その他の投資	27,613	評価・換算差額等	2,671
貸倒引当金	△5,174	その他有価証券評価差額金	2,671
資産合計	7,654,041	純資産合計	2,259,560
		負債及び純資産合計	7,654,041

# 損益計算書

(自 平成25年4月1日)  
至 平成26年3月31日)

科 目	金 額	
	千円	千円
売 上 高		10,770,872
売 上 原 価		9,869,862
売 上 総 利 益		901,009
販売費及び一般管理費		869,557
営 業 利 益		31,452
営 業 外 収 益		
受取利息及び配当金	4,016	
そ の 他 の 収 益	6,507	10,523
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	21,690	
そ の 他 の 費 用	2,494	24,185
経 常 利 益		17,789
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	10,874	10,874
税 引 前 当 期 純 利 益		6,915
法人税，住民税及び事業税	5,322	
法 人 税 等 調 整 額	—	5,322
当 期 純 利 益		1,593



# 株主資本等変動計算書

(自 平成25年4月1日  
至 平成26年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計
平成25年4月1日残高	1,920,000	19	19	157,640	400,000	△181,981	375,658
事業年度中の変動額							
剰余金の配当				3,840		△42,223	△38,383
当期純利益						1,593	1,593
別途積立金の取崩					△400,000	400,000	—
自己株式の取得							
自己株式の処分							
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)							
事業年度中の変動額合計	—	—	—	3,840	△400,000	359,370	△36,789
平成26年3月31日残高	1,920,000	19	19	161,480	—	177,388	338,868

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成25年4月1日残高	△1,957	2,293,720	3,976	3,976	2,297,697
事業年度中の変動額					
剰余金の配当		△38,383			△38,383
当期純利益		1,593			1,593
別途積立金の取崩		—			—
自己株式の取得	△42	△42			△42
自己株式の処分					
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)			△1,304	△1,304	△1,304
事業年度中の変動額合計	△42	△36,832	△1,304	△1,304	△38,136
平成26年3月31日残高	△1,999	2,256,888	2,671	2,671	2,259,560

# 会計監査人の会計監査報告

独立監査人の監査報告書

平成26年5月12日

日東化工株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 吉 澤 祥 次 ㊟  
業務執行社員  
指定有限責任社員 公認会計士 入 江 秀 雄 ㊟  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、日東化工株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第87期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

強調事項

個別注記表の会計方針の変更等に記載されているとおり、会社は、従来、有形固定資産の減価償却方法について、建物(建物付属設備を除く)を除き、定率法を採用していたが、当事業年度より定額法に変更している。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

# 監査役会の監査報告

## 監 査 報 告

当監査役会は、平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第87期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告に基づき、審議の上、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

各監査役は、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。

また、取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）の状況を監視及び検証いたしました。

なお、財務報告に係る内部統制については取締役等及び新日本有限責任監査法人から当該内部統制の評価及び監査の状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムの構築及び運用等に関する取締役の職務の執行についても指摘すべき事項は認められません。  
なお、財務報告に係る内部統制については、本監査報告作成時点において重要な欠陥はない旨の報告を取締役等及び新日本有限責任監査法人から受けております。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は、相当であると認めます。

平成26年5月14日

	日東化工株式会社	監査役会
常勤社外監査役	江 頭 正 己	ⓧ
社外監査役	浪 尾 秀 治	ⓧ
社外監査役	森 本 雄 二	ⓧ

以 上

## 株主総会参考書類

### 第1号議案 取締役5名選任の件

当社取締役は、本総会終結の時をもって、全員（4名）任期満了となります。また、経営基盤の強化を図るため取締役1名を増員することとし、取締役5名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は次のとおりであります。

候補者 番号	ふりがな 氏名 (生年月日)	略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)	所有する当社の株式の数
※ 1	あら かわりょう へい 荒川良平 (昭和28年2月20日)	昭和50年4月 三菱樹脂㈱入社 平成14年9月 同社管材事業部主管 平成22年7月 同社理事関西支社長兼㈱三菱樹脂販売(現、三菱樹脂インフラテック(株)関西支店長 平成23年4月 同社執行役員関西支社長兼㈱三菱樹脂販売(現、三菱樹脂インフラテック(株)関西支店長 平成25年4月 同社執行役員営業・グループ経営部門所管 平成26年4月 当社理事営業本部長 現在に至る	一株
2	かとう たかし 加藤 俊 (昭和31年3月29日)	平成3年5月 当社入社 平成16年10月 当社樹脂事業部門樹脂営業部長 平成18年8月 当社樹脂事業部門樹脂製造部長兼同部門樹脂営業部長 平成19年6月 当社理事樹脂事業部門樹脂製造部長兼同部門樹脂営業部長 平成22年4月 当社理事樹脂事業部門長 平成22年6月 当社取締役樹脂事業部門長 平成26年1月 当社取締役生産本部長 平成26年4月 当社取締役生産本部長兼樹脂製造部長 現在に至る	16,707株

候補者番号	ふりがな氏名 (生年月日)	略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)	所有する当社の株式の数
3	そ ね かず ひろ 曾 根 一 祐 (昭和31年11月11日)	昭和56年4月 三菱化成(株) (現、三菱化学(株)) 入社 平成13年4月 同社四日市事業所カーボン・ゴムセンターグループマネージャー 平成18年4月 同社中部支社営業推進室長 平成20年6月 当社理事技術開発センター長 平成22年4月 当社理事ゴム事業部門副事業部門長兼技術開発センター長 平成22年6月 当社取締役ゴム事業部門副事業部門長兼技術開発センター長 平成22年10月 当社取締役ゴム事業部門長兼技術開発センター長 平成26年1月 当社取締役技術開発本部長 現在に至る	44,740株
※ 4	え がしら まさ き 江 頭 正 己 (昭和27年3月28日)	昭和49年4月 三菱樹脂(株)入社 平成16年10月 (株)ヒシテック(現、三菱樹脂インフラテック(株))取締役 平成20年4月 (株)ヒシテック(現、三菱樹脂インフラテック(株))取締役社長兼三菱樹脂(株)ライフライン事業本部設備機器部長 平成22年7月 (株)三菱樹脂販売(現、三菱樹脂インフラテック(株)常務取締役 平成24年4月 三菱樹脂(株)関連部長付 平成24年6月 当社常勤監査役 現在に至る	2,000株

候補者 番号	ふりがな 氏名 (生年月日)	略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)	所有する当社の株式の数
※ 5	や じま あつし 矢 島 敦 (昭和38年3月6日)	昭和61年4月 三菱油化(株)(現、三菱化学(株))入社 平成8年12月 Mitsubishi Chemical Singapore Pte Ltd. 平成14年4月 日本ポリケム(株)海外部 平成15年10月 日本ポリプロ(株)企画管理部 平成20年9月 Mytex Polymers India Pvt.Ltd. 平成23年6月 三菱樹脂(株)海外部企画グループ マネージャー 平成24年4月 同社セールス&マーケティング部副 部長 平成26年4月 同社関連部長 現在に至る	一株

- (注) 1. ※印は、新任の取締役候補者であります。
2. 各候補者と当社との間には、特別の利害関係はございません。
3. 矢島敦氏は、社外取締役候補者であります。
4. 矢島敦氏を社外取締役候補者とした理由は、同氏は、化学業界・需要動向等に精通しており、有益なアドバイスを頂けるものと期待し、選任をお願いするものであります。なお、同氏は、直接経営に関与された経験はありませんが、上記の理由により、社外取締役として、その職務を適切に遂行できるものと判断しております。
5. 所有する当社の株式の数には、役員持株会における持分を含んでおります。
6. 当社は、矢島敦氏との間で会社法第423条第1項の賠償責任について法令に定める要件に該当する場合には賠償責任の限度額を同法第425条第1項に定める最低責任限度額とする内容の責任限定契約を締結する予定であります。

## 第2号議案 監査役1名選任の件

当社監査役江頭正己氏は、本株主総会終結の時をもって辞任されますので、新たに監査役1名の選任をお願いするものであります。

なお、選任されます監査役の任期は、当社定款の定めにより、前任者の任期満了の時までとなります。

なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は次のとおりであります。

ふりがな 氏名 (生年月日)	略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)	所有する当社の株式の数
いいたしげき 飯田茂樹 (昭和25年7月21日)	昭和48年4月 三菱化成工業(株)(現、三菱化学(株)) 入社 昭和62年5月 同社黒崎工場業務部主席 平成5年8月 同社東京支社炭素部門主席 平成15年6月 三菱化学産資(株)(現、三菱樹脂(株))大 阪支店長兼九州支店長 平成17年1月 同社取締役土木資材事業部長 平成20年3月 イフコ・ジャパン(株)取締役社長 平成26年4月 三菱樹脂(株)関連部長付 現在に至る	一株

- (注) 1. 新任の監査役候補者であります。
2. 当該候補者と当社との間には、特別の利害関係はございません。
3. 飯田茂樹氏は、社外監査役候補者であります。
4. 飯田茂樹氏を社外監査役候補者とした理由は、同氏は、各分野における豊富な知識と経験ならびに高い見識を有していることから、監査機能を發揮していただけることが期待できるため、社外監査役候補者として選任しております。
5. 当社は、飯田茂樹氏との間で会社法第423条第1項の賠償責任について法令に定める要件に該当する場合には賠償責任の限度額を同法第425条第1項に定める最低責任限度額とする内容の責任限定契約を締結する予定であります。



### 第3号議案 退任取締役及び退任監査役に対する退職慰労金贈呈の件

本總會終結の時をもって退任される取締役 高瀬 宗救氏及び監査役 江頭 正己氏並びに平成25年8月31日付けで辞任された 取締役 西岡 靖之氏に対する在任中の功労に報いるため、当社の定める一定の基準に従い相当額の範囲内で慰労金を贈呈することとし、その具体的な金額、時期、方法等は、退任取締役については取締役会に、退任監査役については監査役の協議に一任願いたいと存じます。

退任取締役及び退任監査役の略歴は次のとおりであります。

氏 名	略 歴
高 瀬 宗 救	平成24年8月 当社取締役社長 現在に至る
西 岡 靖 之	平成23年6月 当社取締役 平成25年8月 当社取締役辞任
江 頭 正 己	平成24年6月 当社常勤監査役 現在に至る

以 上

メ モ

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

メ モ

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

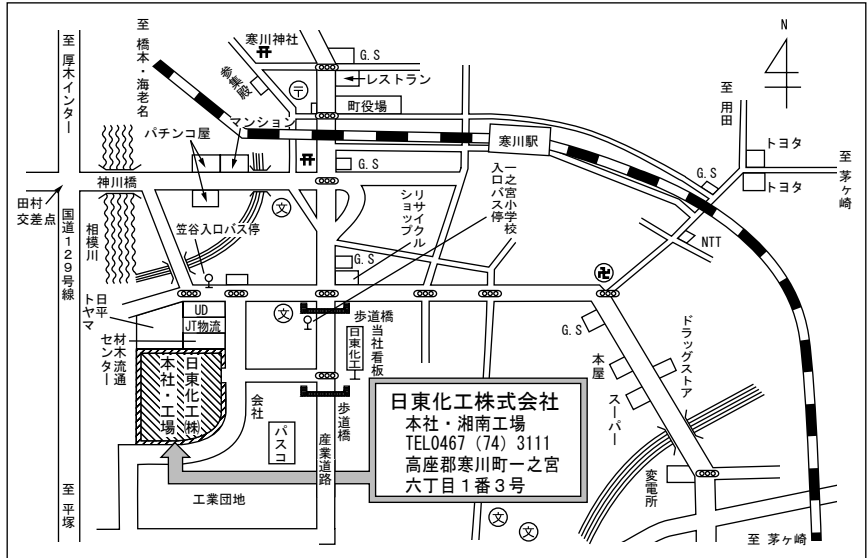
-----

# 株主総会会場ご案内図

〒253-0111 神奈川県高座郡寒川町一之宮六丁目1番3号

日東化工株式会社 本社事務所 3F会議室

電話 0467 (74) 3111 (代)



## 〈交通機関〉

JR東日本 東海道線 茅ヶ崎駅乗換

イ 相模線 海老名、橋本、八王子行 寒川駅下車徒歩15分

ロ 神奈川中央交通バス 茅ヶ崎駅北口5番発・寒川駅南口行  
笠谷入口 (53系統) 又は一之宮小学校入口 (54系統) 下車  
停留所より徒歩3分

車 東名高速道路 厚木インターより20分